



制度を利用するのは敷居が高く感じるなあ。急に病気になった時にだけ、入院手続きや支払い対応をしてくれる仕組みがあればなあ。死んだ後のことだけを頼む仕組みはないのかな？

せっかく家族がいるのだから、私に何かあった時には家族に私の資産管理をお願いする仕組みはないかしら？



令和8年3月5日(木)

13:30~16:10(開場13:10)

■板橋区立グリーンホール
2階ホール(板橋区栄町36-1)

■150名(申込順) 手話通訳あり・参加費無料

ど ひ しょう こ
■講師 弁護士 土肥 尚子氏

講師プロフィール

昭和62年4月 弁護士登録 東京弁護士会高齢者・障害者の権利に関する特別委員会委員／日本弁護士連合会
高齢者・障害者権利支援センター委員／一般社団法人成年後見センター・ハーモニー代表理事／権利擁護いたばしサポートセンター顧問弁護士・運営委員

任意後見制度と法定後見制度
自分らしく生きるための情報収集をしよう

申込・問合せ：権利擁護いたばしサポートセンター

令和8年2月2日(月)9時から電話にて受付

※定員になり次第、受付は終了となります。

※聴覚障がいの方のみFAXで受付をいたします。

※受講の際に何らかの配慮が必要な場合は、申込みの際にお伝えください。

TEL:5943-7070 FAX:3964-0245

社会福祉法人板橋区社会福祉協議会

権利擁護いたばしサポートセンター

板橋区板橋二丁目65番6号 板橋区情報処理センター1階

TEL 5943-7070 FAX 3964-0245

受付時間: 月～金曜日 9時～17時 (土日祝・年末年始は休み)

【ホームページ】<http://www.itabashishakyo.jp>

◎権利擁護総合相談 <無料>

認知症や障がいなどにより、自分で判断することが十分でないご本人やその方を支えるご家族、福祉関係者などを対象に、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理の援助、また成年後見制度の利用など、福祉サービスに関する総合的な相談・情報提供を行います。

◎専門職による権利擁護専門相談 <無料>

認知症や物忘れのある高齢の方、知的障がい、精神障がいなどのある方の権利擁護や成年後見制度の利用に関する専門的な相談を専門職がお受けします。また、必要な手続きの説明や適切な専門機関などを紹介します。

◎地域福祉権利擁護事業 <有料>

認知症や障がいなどにより、自分で判断することが十分でない方を対象に、住み慣れた地域で安心して生活が出来るよう福祉サービスの利用援助やそれに伴う日常的な金銭管理サービス、書類等の預かりサービスを行っています。

※来所相談は完全予約制です。

板橋区立グリーンホール 案内図

いたばし社協キャラクター



○交通機関

東武東上線 大山駅下車 徒歩5分、

都営地下鉄三田線 板橋区役所前駅下車 徒歩5分